

赤松金芳著「新訂和漢薬」より

生薬名 阿煎薬

新訂和漢薬 記載頁

076

基源 アカネ科 *Uncaria gambir* Roxb. 又は マメ科 *Acacia catechu* Willd. 及び *A. suma* Kurz. より採った乾燥エキス.

部位 乾燥エキス

作用 無毒 [本草綱目]. 止血 [本草綱目, 和蘭薬鏡, 満洲漢薬], 収瀉 [和蘭薬鏡], 清上膈熱 [本草綱目], 化痰, 生津, 生肌, 定痛 [本草綱目, 満洲漢薬], 排膿 [満洲漢薬].

応用 効嗽, 咽喉焮腫, 下痢, 赤痢, 小便淋瀝, 尿崩, 崩漏, 帯下, 吐血, 嘔血, 尿血 [和蘭薬鏡], 咽喉熱, 口糜, 口瘡 [満洲漢薬], 金瘡, 諸瘡, 鼻淵, 下疳 [本草綱目](=疔瘡 [満洲漢薬]), 痔瘡 [本草綱目, 満洲漢薬], 脱肛 [本草綱目].

処方 響声破笛丸[失音]

備考 別名：阿煎薬 [本綱啓蒙], 百薬煎 [多識編, 用薬須知, 本綱啓蒙], 烏參児 [本草綱目, 多識編, 大和本草, 和蘭薬鏡], 該児茶 [大和本草, 和漢三才], 児茶 [和漢薬物], 午時茶 [満洲漢薬].

【参考】

「本草綱目」の土部に烏參泥（核児茶），虫部に百薬煎があり，烏參泥は南番瓜哇暹羅諸国より出し，細茶より製すといひ，百薬煎は五倍子より製すとする。貝原益軒の「大和本草」には核児茶と阿仙薬とを同物とし，小野蘭山の「本草綱目臨蒙」には百薬煎と阿仙薬とを同物とする。すなわち，古来，これらを共に源用せるものと見え，何れもタンニン類を含有し，それに医治効用を求めたものと思われる。